

事業効果を 千エツク

決算特別委員会では、9月13日～15日の3日間集中審議が行われ、全て認定すべきものと決定しました。

将来負担増の可能性は

Q 本年度、国勢調査が行われた。他の市町の人口増減によって、一部事務組合等の広川町の負担金はどうなると予測しているか？

A 八女消防組合負担金という消防費は約1000万円超増額を見込んでいるため、一部事務組合負担金については、構成市町と協議を行っていく予定である。

家庭ごみの処理は

Q コロナ禍で家庭ごみの増減の状況はどうか？

A 可燃ごみは減っているが、資源ごみ・不燃ごみとも増加している。

町民の健康は

Q コロナ禍の健康寿命増進策はできているのか？

A フレイル対策に力をいれており、貯筋体操などを推進している。
※フレイルとは、加齢により身体的機能や認知機能の低下がみられる状態のこと。

障がい者相談支援センター

Q 町単独で開設された広川町障がい者基幹相談センター「シエル」の利用状況はいかがか？

A 相談件数、利用人数ともに増えている。利用しやすいと好評である。

上下水道の今後は

Q 上・下水道の財政の観点から今後の方向性は？

A 下水道は加入率が低い。経営面からも町民に理解頂き、加入促進に努める。

町の主な財務状況

資産…基金・債権・出資金・有価証券	31億8617万円
負債…町費	78億54万円
上水道事業 負債	3億2916万円
下水道事業 負債	28億6937万円

さらなる創意工夫を （監査委員意見）

予算執行及び経理事務、財産の管理など財務関連事務は良好な執行がうかがえる。
一般会計及び特別会計の収支状況は適正な予算執行ですべて黒字決算である。

少子高齢化や人口減少対策、社会保障費の増加、公共施設老朽化への対応など多額の財源を要する事業にも数多く取り組んでいる中、新型コロナウイルス感染症は収まる気配も見えない。このような中、財政運営に一段と厳しい影響を及ぼすことが懸念される。
今後、徹底した精査を行いさらなる創意工夫により町の発展と行政サービス、福祉の増進に努められるよう要望する。



井上監査委員